

山都町認知症ケアパス

～地域で暮らし続けるために～



認知症の経過	認知症の心配がある（自立）	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 症状行動の例	<ul style="list-style-type: none"> ●物事の段取りが悪くなる ●昔から知っている物の名前が出にくい ●積極性が低下する ●金銭管理や買い物、書類作成を含め日常生活は自立している 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しいことが、なかなか覚えられない ●買い物や金銭管理などにミスが見られるが、日常生活はほぼ自立している ●料理の準備や手順を考えるなど、状況判断が必要な行為が難しくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ●服薬管理が出来ない ●電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい ●たびたび道に迷う ●買い物など今まで出来ていたことに、ミスが目立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ●着替えや食事、トイレなどがうまく出来ない ●財布などを盗まれたと言い出す(盗られ妄想) ●自宅がわからなくなる ●時間、日にち、季節がわからなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい ●言葉によるコミュニケーションが難しくなる ●声かけや介護を拒む ●飲み込みが悪くなり、食事に解除が必要

